

神経精神科学

担当指導医師

●本院

教授：大塚 耕太郎、八木 淳子

准教授：福本 健太郎

講師：三條 克己、三田 俊成、山家 健仁、内出 希

助教：吉岡 靖史、本多 笑奈、松尾 奈津美、松下 祐

非常勤講師：伴 亨、鈴木 満、及川 暁、智田 文徳、星 克仁、中山 秀紀、
遠藤 仁、小泉 範高、小泉 文人

学習方針（実習概要等）：

神経精神科は、精神の異常によっておこる疾患の診断・治療を取り扱う領域である。臨床実習においては、患者診察を通じて主に精神疾患の症候、検査、診断、治療や社会福祉について総合的に学習する。

教育成果（アウトカム）：

精神疾患の症状および病態を理解することで、精神疾患の診断および病状に応じた治療や福祉サポートの方針を立案することができる。また、様々な職種の医療従事者とのコミュニケーションを通じて、チーム医療の一員として参加する。

（ディプロマポリシー：1,2,3,4,5,6,7）

到達目標（SBOs）：

外来実習

1. 問診により正確な精神科的既往歴、生活史、現病歴が聴取できる。
2. 得られた病歴、身体所見、検査結果から、鑑別すべき精神疾患を列挙することができる。
3. 診断確定後、必要な初期治療を立案することができる。
4. 任意入院、医療保護入院、応急入院、措置入院など、精神保健福祉法による入院手続きや退院請求および処遇改善請求を理解し、説明することができる。
5. コンサルテーション・リエゾン精神医学について理解し、チーム医療に参加できる。
6. 心理検査の方法ならびに結果について説明することができる。
7. 脳波検査の原理、方法ならびに検査結果を説明できる。
8. 精神科救急を受診した患者への救急処置や入院の要否の判断過程を把握することができる。

病棟実習

1. 精神疾患の急性期治療（向精神薬の投与、修正型電気けいれん療法）を立案することができる。
2. 患者の人権についての理解を深め、精神保健福祉法による適切な身体保護・拘束・隔離について説明することができる。
3. 多職種カンファレンスに参加し、退院後の社会福祉サポートの導入について立案することができる。
4. 児童精神科病棟を見学し、子ども特有の疾患の理解ならびに発達段階に応じた評価をすることができる。

特に留意すべき注意事項：

- ・ 実習初日（月曜日が祝日の場合は火曜日）に実習の説明ならびに新患患者の病歴聴取に関する講義を行う。8時半に神経精神科学講座 医局（西10階）に集合すること。
- ・ 集合時間を厳守すること。
- ・ 患者の個人情報外部に漏らしてはならない。
- ・ 実習参加にあたっては、患者の心理には十分配慮し、患者との面接も上級医が同席のもとで行う。
- ・ 実習初日に個人およびグループに対して課題を与える。個人課題に関しては、実習期間中にレポートを作成してもらう。レポート作成を通じ精神疾患への理解を深めることを目的としているため、形成的評価であり、成績に反映されないものである。作成にあたり、疑問点がある場合は、担当上級医に質問し、その場でフィードバックをうけること。
- ・ グループ課題の成果は成人病棟実習終了時のまとめ講義時に発表し、講義担当の上級医よりコメントを受ける。
- ・ 2週目終了後に多岐選択方式問題(MCQ)方式による中間試験を実施する。解答に関してフィードバックを行う。
- ・ 総括評価は、まとめ講義の発表 80%、2週終了後の中間試験（MCQ）20%とする。まとめ講義表はスライド内容、発表、質問内容を評価する。

当該科目に関連する実務経験の有無 無

教科書・参考書等

- ・ DSM-5-TR 精神疾患の分類と診断の手引, 日本精神神経学会, 医学書院
- ・ 標準精神医学 第9版, 尾崎 紀夫 / 三村 将, 医学書院

事前学修内容および事前学修時間

シラバスに記載されている各実習内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行い、医療面接・診察など基本的臨床技能実習で修得した手技について再確認をすること。また、実習前にe-ポートフォリオ(WebClass)「日々の振り返り 今日目標」にて、事前学修内容を踏まえた自己到達目標を設定し実習に臨むこと。各実習に対する事前学修時間は最低45分を要する。本内容は全実習に対して該当するものとする。なお適宜e-ポートフォリオ(WebClass)を通して個人に対する実習のフィードバックを行う。実習では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	個数	使用目的
視聴覚用機械	ノート型 PC	1	臨床実習における症例検討会・講義
視聴覚用機械	デスクトップパソコン (ThinkCentre M91P)	1	実習スケジュール管理等
視聴覚用機械	デスクトップパソコン (MD094J/A)	1	講義資料作成
視聴覚用機械	デスクトップパソコン (SVJ2022AJ)	1	実習資料作成
その他	複合機 一式 (RICOH MP C6003SPF)	1	講義資料印刷等
その他	カラーレーザープリンター (IPSIO CX3000)	1	臨床実習における講義資料作成
その他	複合機 (imagio NEO C600)	1	講義資料作成用
その他	ノートパソコン (FMVU90H1B)	1	診療録閲覧用

臨床実習スケジュール[神経精神科]

指導医名：①大塚耕太郎教授 ②八木淳子教授 ③福本健太郎准教授 ④三條克己講師 ⑤山家健仁講師 ⑥三田俊成講師 ⑦内出希講師 ⑧吉岡靖史助教
⑨松尾奈津美助教 ⑩本多笑奈助教 ⑩松下祐助教

曜日	1 限目	2 限目	3 限目	4 限目
月 [場 所] [指導医]	朝カンファ（病棟） ① ④⑩	オリエンテーション・自習用課題 呈示（医局） ④	受け持ち患者との面談（病棟） ⑥⑩	課題作成
火 [場 所] [指導医]	外来新患診察見学（外来） ⑥ ④⑨	外来新患診察見学（外来） ⑥ ④⑨	受け持ち患者との面談（病棟） ⑥⑩ 精神科ハイリスク者カンファレン ス・回診（病棟） ①	社会福祉士の講義（医局）
水 [場 所] [指導医]	外来新患診察見学（外来） ③ ④⑩	外来新患診察見学（外来） ③ ④⑩	課題作成	精神科一般病棟カンファレンス・ 病棟医長回診（病棟） ⑥
木 [場 所] [指導医]	受け持ち患者との面談（病棟） ⑥⑩	課題作成	課題作成	心理士講義/医師講義（医局） ⑩
金 [場 所] [指導医]	受け持ち患者との面談（病棟） ⑥⑩	課題作成	課題作成	医師講義/学生課題発表（医局） ⑩

1クールあたり最大16人が実習を行う。成人病棟での実習を2週間。電気けいれん療法（ECT）見学ならびに精神科救急実習が1週間。

児童病棟での実習を1週間経験する。4人1グループとし、グループ毎にローテーションする。

成人病棟での実習スケジュールは上記のとおり。児童精神科実習は②⑦⑧⑨が担当をする。